第26回春日部大凧マラソン大会

問い合わせ／第26回春日部大凧マラソン大会実行委員会事務局〔スポーツ推進課内〕(☎763-2446)

大会イメージキャラクター
ふじたこくん

ゲストランナー

平井信行(ひらいのぶゆき)さん（NHK気象予報士）

井田寛子(いだひろこ)さん（ニュースウオッチ9気象キャスター）

とき…5/4㈷ 9:00開会式

ところ…庄和総合公園周辺

種目…ハーフ（高校生以上）6,000人
10キロメートル（高校生以上）3,000人
5キロメートル（中学生以上）1,000人
2キロメートル（小学4～6年生）300人
年齢別・男女別に25部門
※種目ごとに申し込み定員（先着順）があります
※ハーフ・10キロメートルには関門制限があります。また、ハーフの部はコース上に踏み切りがあり、ランナーストップを行う場合があります

ランナー募集

5月の青空の下、景色の良い田園を眺めながら、江戸川沿いの土手を走ってみませんか。ゴール後には、ドリンクサービスや抽選会もあります。また、参加賞としてオリジナルスポーツタオルと携帯クリーナーを用意しています。

参加費…3,500円（平成8年4/2以降に生まれた人は、1,500円）

申し込み…インターネット・携帯サイト（http://runnet.jp/）から申し込み、3/14㈮までに参加費をお支払いください。

郵便振替は2/7㈮（当日払込受付印有効）までに最寄りの郵便局へ。

ボランティア募集

この大会は、ボランティアの皆さんに支えられています。今回もドリンク配布係、会場案内係、ランナー誘導などのボランティアを募集します。

申し込み…2/28㈮までに直接、または電話で教育センター1階スポーツ推進課（☎763-2446）へ

声援がランナーの力になります

皆さんの声援は、ランナーにとって大きなエネルギーとなります。全国から集まるランナーにコース沿道での声援をお願いします。コース図、ランナー通過予測時間などの詳細は広報かすかべ4月号でお知らせする予定です。

平成26年春季全国火災予防運動

3/1㈯～7㈮の7日間

問い合わせ／消防本部・予防課（☎738-3117）

・全国統一防火標語
『消すまでは　心の警報　ON(オン)のまま』

なくしましょう！ たばこ火災

平成24年中、全国で44,189件の火災が発生し、1,721人が亡くなっています。このうち住宅火災による死者（放火自殺者などを除く）は、1,016人です。これを出火原因別にみると、最も多いのがたばこで158人が亡くなっています。たばこは、灰皿などでもみ消しても完全に消えず、火種が残ることがあります。また、たばこによる火災は、すぐに炎を上げて燃えることはなく、無煙燃焼（炎を出さずに燃え広がる）をしばらく続け、その後、炎を上げて燃え出すことから、火災の発見が遅れたり、外出後に出火したりするなどの危険性があります。

たばこ火災を防止するために次のことに気を付けましょう。また、早期発見のため住宅用火災警報器を設置しましょう。

▶寝たばこは絶対にしない ▶決まった場所で喫煙し、くわえたばこはしない ▶灰皿には水を入れ、吸殻を捨てるときは確実に火を消してから捨てる

暮らしの中で身近にある危険物

危険物はガソリン、灯油、軽油などの燃料類をはじめ、危険物を含んだスプレー缶、アロマオイルや高濃度アルコール飲料など、私たちの生活に欠かせないものとなっていますが、その危険性を意識せずに使用したことによる火災が毎年発生しています。

家庭内では、注意事項をよく読むなど、身の周りにある危険物などの性状や正しい取り扱いを十分理解し、事故発生を未然に防止しましょう。

あなたが身の周りで使っている物に、次のような表示はありませんか。

表示されているものは<危険物>です。

危険物第4類 第1石油類 危険等級Ⅱ 火気厳禁	危険物第2類 引火性固体 危険等級Ⅲ 火気厳禁

このような表示がある物は、ストーブなどの火気の近くで使用したり、その近くに放置することは絶対にやめましょう。

ガソリンの貯蔵・取り扱い

京都府福知山市の花火大会会場で多数の死傷者を出す火災が発生しました。事故を防止するためにガソリンの貯蔵・取り扱い時には、次の点に注意しましょう。

◎ガソリンの特性

- 引火点がマイナス40度程度と低いため、蒸発しやすく簡単に引火、爆発を起こします
- 気体になったガソリンは空気より重いため、地面に沿って広範囲に広がります
- 流動など（容器を激しく揺らすなど）の際に発生した静電気が蓄積しやすい

◎貯蔵・取扱い時の注意点

- ガソリンの貯蔵や取り扱いは火気や高温部、火花を生じる機器から十分な距離をとり、直射日光の当たらない風通し、換気の良い場所で行いましょう
- こぼしてしまった時は、少量であっても取り除き、同時に周囲での火気使用を中止して付近への立入りを制限しましょう
- 衣服や体に付着してしまった時には、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう
- ガソリンの貯蔵は金属製容器を用いるとともに、容器は地面に直接置いて（絶縁物であるダンボールなどの敷きの物上に置かない）、静電気がたまることを防ぎましょう
- 容器からガソリンの蒸気が流出しないように、しっかり密栓しましょう
- 金属製容器でガソリンを取り扱う際には取扱説明書の操作方法に従って、ふたを開ける前に圧力調整弁の操作を行い、漏れや溢れを起こさないように細心の注意を払いましょう。特に夏場はガソリンの温度が上がり、容器内で蒸発したガソリンの圧力により吹きこぼしが起こる恐れがあります
- ガソリンを燃料とする機器は取扱説明書をよく確認し、安全上の注意点について厳守しましょう。特にエンジンを停止せずに燃料補給することは絶対に避けましょう
- 貯蔵、取り扱い時には、消火器を準備しましょう
- ガソリンを40リットル以上保管する場合には、消防本部への届出などが必要です

<ガソリンの貯蔵に適した容器例>
（金属製容器であることが必要）

<ガソリンの貯蔵に適さない容器例>
（樹脂製容器は火災危険性が高い）